

湯浅三郎 回顧展

「描くということ」

2024年 5月29日(水) - 6月2日(日)

10時 - 18時 (最終日は16時閉場)

京都文化博物館5階



祇園祭 お稚児さん注連縄切り(168×98cm)

YUASA Saburo Retrospective Exhibition

季節の色、鮮やか。

1 デザイン Design

和紙はり絵(コラージュ)作家湯浅三郎が2019年に他界して5年が経ちました。これを機に、30年を超える画業を振り返る回顧展を開催します。和紙はり絵を中心に、墨彩画、スケッチなど約40点を5つのテーマに基づいて構成。技術の発展、表現の推移が見える展覧会になります。1980年代の初期の作品、画集の原画も展示します。ぜひご覧ください。



京の歳時記 (左から吉野太夫花供養、葵祭、嵐山もみじ祭) = 画集「KYOの歳時記」原画

2 墨 Ink

躍動する。



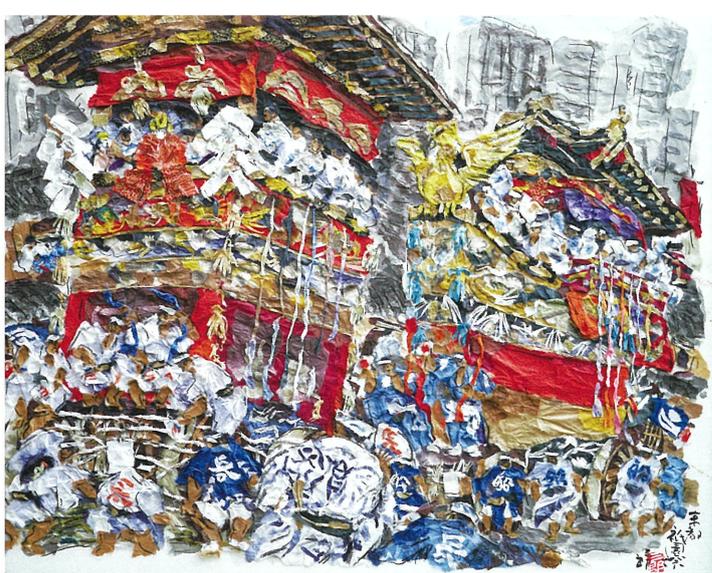
ねぶた祭 (墨彩画)



3 スケッチ Sketch



(上) 壬生狂言・土蜘蛛 (下) 宇和島牛鬼まつり (ともにスケッチ)



祇園祭 山鉦巡行(長刀鉦と船鉦)

4 祭 Festival

音が聞こえる。

思うがままに。

5 自由闊達 Free and Vigorous



JAZZ 2



金剛蔵王権現



墨彩画・和紙はり絵(コラージュ)作家

湯浅 三郎

YUASA Saburo

【略歴】

- 1940 京都市に生まれる
- 1960~1977 立命館大学中退後、グラフィックデザイナーとして活動
- 1978 作家活動開始
- 1982~1986 日仏現代美術展入選(墨彩画)
- 1988 「KYOの歳時記」和紙はり絵作品集出版(京都書院)
- 1994 ニューヨーク・ソーホーにて個展
- 2019 9月20日 永眠

企画展(百貨店)

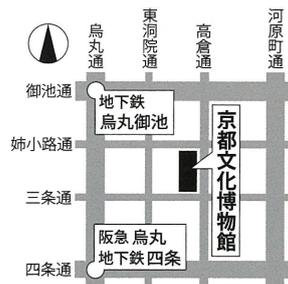
1989~2009 阪急百貨店・うめだ本店にて毎年開催
 その他 京都大丸、松屋銀座、神戸阪急、横浜高島屋、玉川高島屋、奈良近鉄、長崎浜屋、仙台三越、名古屋松坂屋本店にて、それぞれ数回

個展

ニューヨーク・キャストアイアンギャラリー、東京・玉屋ギャラリー、大阪・グランドギャラリー、京都文化博物館、京都・ヒルゲート他

テレビ・ラジオ作品紹介、コマーシャル印刷物多数

〈湯浅三郎 公式ウェブサイト〉 saburoyuasa.com



THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉
 TEL 075-222-0888 FAX 075-222-0889
<http://www.bunpaku.or.jp>